

# ハローワーク名古屋南 就職支援業務報告（令和元年度）

## 1 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）特に重点的に取り組んだ事項

#### 【企業支援（働き方改革推進事業）】

企業における働き方改革に関する理解促進及び企業ニーズを的確に把握することを目的とした積極的な企業訪問（年間250社）を実施して、良質な求人確保に努め、特に中小企業に対する正社員求人の充足に努めました。

#### 【就職氷河期世代支援】

就職氷河期世代に対する支援は喫緊の課題であり、当所では全国に先駆け、同世代を対象とした支援窓口を令和元年10月9日に開設しました。同世代に対する政府等の積極的な動きを踏まえ、企業の中には、就職氷河期世代を積極的に募集・採用したいという声があるなど、採用意欲の高まりもみられるところであり、こうした機運の盛り上がりを見逃さないよう、迅速に対応するため、令和元年12月5日に名古屋中所、名古屋東所、津島所及び桑名所と5所共催で「正社員就職フェア」を全国に先駆けて行いました。参加企業数24社、求職者数196名、延面接者数178名、紹介件数91件と求職者だけではなく事業所からも理解を得られ、ハローワークが管轄地域の企業支援を行っていることを発信することが出来ました。

### （2）サービス改善・業務改善を図った事項

令和2年1月にはハローワークシステムが刷新され、インターネットを介した形態となり、現状の来所者が減少することが予測されます。ハローワークの最大の役割である需給調整機関としての求人充足が最大の目標であり、その目標を達成するためには、雇用保険受給者のハローワークを活用した早期再就職及び良質求人の確保等を図る事です。そこで、雇用保険受給者の職業相談窓口の積極的な活用につなげる試行的実施として、各業界に対するイメージの齟齬を払拭、見識を深めることにより再就職への意欲を喚起することを目的とした業界別企業セミナーを令和2年2月20日に開催し、求職者の皆様から好評を得ることが出来ました。

また、求職者に企業の雰囲気伝えて就職を促進する目的から、職員による企業見学を実施し、福利厚生施設など画像撮影にご協力いただき、その上で求人票、PR画像を作成し、庁舎内に掲示及び職業相談部門から積極的に紹介した結果、求人が充足し、企業から感謝の声が寄せられました。

(3) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

求職者が減少する中、新たな潜在求職者に対してハローワークの利用勧奨も重要であると判断してホームページ等を活用するなど利用促進を進める一方で、現に来所した求職者、特に雇用保険を受給している求職者の方が希望する就職先が見つからない状況も見受けられたため、就職意欲の高い方を中心に就職支援ナビゲーター等による能動的マッチングに努めてまいります。

同時に、ハローワークを利用する方が必要とする情報ニーズを的確に把握して魅力ある情報を発信してくため、ホームページのリニューアル化、若年者向け動画 YouTube の発信、LINE 発信ができる環境整備に努めてまいります。

(4) その他業務運営についての分析等

年度末から新型コロナウイルスの影響により企業活動が制限されており、失業者が増大することが懸念されています。その一方で、人材不足の企業は依然として多くあり、企業ニーズに応えることはハローワークの使命であること、また、需給調整機関として求職者の生活の安定を図ること、企業における雇用の維持を図ることが最重要課題であることから、いずれも迅速かつ丁寧な対応をしております。

2 総合評価 (※)

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3 特記事項

雇用保険受給者の早期再就職支援については、就職支援ナビゲーターによる個別支援登録者の確保に努め、早期再就職意欲の喚起を行うとともに、担当者制でのマンツーマン支援により就職件数の増加を図ることができました。

生活保護受給者等に対する就職支援については、各区役所の就労支援員に対する支援対象者の送り込み依頼を行うとともに、区役所職員と当所管理職職員（所長・次長・担当統括）との連携強化や就職支援ナビゲーターに対する定期的な研修により資質の向上を図ることで、就職件数の増加につながりました。

公的職業訓練修了者に対する就職支援については、訓練施設担当者による説明会開催により受講者確保に努めるとともに、令和元年10月に組織再編により職業相談第二部門において雇用保険受給者に対する就職支援窓口と一体化したことが就職件数の増加につながりました。

生涯現役支援窓口については、職業相談各部門間での連携を図り、雇用保険受給者の早期再就職支援同様に就職支援ナビゲーターによる個別支援登録者の確保に努め、対象者に対する就職意欲の喚起を行うとともに、担当者制によるマンツーマン支援により65歳以上の就職件数の増加を図ることができました。

### 4 マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足件数 (受理地)	雇用保険受給者 早期再就職件数	求人に対する 紹介率	求職者に対する 紹介率	生活保護 受給者等の 就職件数	障害者の 就職件数	ハローワークの 職業紹介によ り、正社員に結 びついたフリー ター等の件数	公的職業訓練 修了3か月後 の就職件数	正社員求人数 (必須指標)	正社員就職件 数(必須指標)	生涯現役 支援窓口での 65歳以上の 就職件数
実績	4,959	4,865	2,540	35.9%	39.2%	878	557	1,001	389	28,409	2,327	241
目標	5,142	5,115	2,253	36.9%	39.8%	801	559	1,106	358	30,532	2,554	198
目標達成率	96%	95%	112%	97%	98%	109%	99%	90%	108%	93%	91%	121%

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率